

## ●事業コンセプト

事業コンセプト

「赤ちゃんから入場できるコンサート」

### 「いさのおんがくたい」とは？

この企画は、日ごろ、育児などでクラシックコンサートなどに出かけることがなかなかできない若いお父さんや、お母さん、赤ちゃんからお年寄りのみなさんが、身近にあるホールで、気軽に音楽を聴く機会を創出することで、『演奏をとおして、楽器の持つ「生の音」のよさを体感(冒険)できるように』と、地元在住の演奏者たちが中心になって、2010年に立ち上げたものです。

主コンセプトは、「赤ちゃんから入場できるコンサート」です。

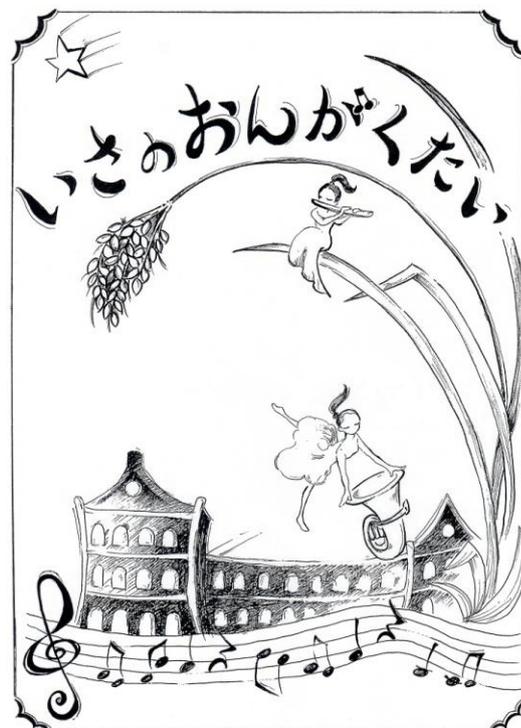
一般にコンサートというと大きな空間(ホール)で、いろいろな照明や音響があってという大々的なものを想像されると思います。この企画は、照明も音響も最低限で、空間も200人くらいが入る小ホールが会場です。基本は楽器のもつ生の音とホールのもつ響きですから、聴衆は演奏者をもっと身近に感じることができます。

それぞれのコンサートは、演奏者みずからが、企画・構成し、個性と発想と表現力を最大限に生かし出演します。楽器体験等の聴衆参加のコーナーを取り入れたり、聴衆とやりとりを取り入れたり、既成の形式・概念にとらわれず、演奏者が演奏したい曲を中心にして、自由にプログラムを組み立てることができるのも大きな特長です。

聴衆であるお客様には、身近にあるホールで、「目の前で演奏される生の音を聴き、身近な場所で感動を享受する楽しさ」を、一緒に味わっていただきたいと考えています。

この企画を通じて、演奏者(出演者)も、聴衆も、一緒になって楽しめるコンサートを目指します。

※本事業は、文化芸術基本法(平成29年6月23日法律第713号)の制定趣旨に即して企画・運営しています。平成30年度1月末時点で観客動員数 延べ 8,411名(111公演、内小学生以下2,810名)の実績となりました。2018年度は、11公演(内ミニコンサート6回、アウトリーチコンサート4回、ホールコンサート1回)を実施中です。



毎回、このイラストの表紙でプログラムを作成しています。



## 「いさのおんがくたい 2019」 出演者募集要項

- ① 出演者は、主に伊佐市及び鹿児島県内で演奏活動に取り組む個人又は団体とし、プロ・アマは問いません。
- ② 公演日は、2019年6月1日から2020年3月10日までの土・日・祝祭日とします。演奏者の希望をお伺いして、ホールの空き状況等を踏まえて、調整して決定します。
- ③ 出演時間は、ミニ・コンサートはおおむね1時間以内、参加型ワークショップは2時間以内とします。
- ④ 演奏形態は、ソロ・アンサンブルを問いません。ただし、高校生以下の演奏者のみを中心となる場合は、あらかじめご相談ください。
- ⑤ 楽器使用の場合は、原則アコースティックとし、歌唱の場合は、生声とします。
- ⑥ 当日のプログラム案・会場設営案については、演奏者が直接ホール、会場を確認の上、構成してください。
- ⑦ 会場は、原則、伊佐市文化会館小ホールを使用します。他の会場を希望される場合は、事前の打合せ時にご相談ください。(演奏の形態によっては、大ホール舞台上を使用することもあります。)
- ⑧ 使用する楽器等の機材は、グランドピアノを除き、持ち込みとします。搬入・搬出は出演者の責任で行なってください。
- ⑨ 会館備付のピアノは以下の2台です。

種類	メーカー	番号	全長
グランドピアノ	ヤマハ	品番:CF 製番:3360200	260 cm
グランドピアノ	ヤマハ	GIII 1813246 E	167 cm

- ⑩ 出演が決定しましたら、文書で通知します。
- ⑪ 出演決定後は、リハーサル・本番まで、演奏者と実行委員会が相互に打合をしながら、公演当日まで進めていきますので、ご協力ください。
- ⑫ チラシ、広報の内容等については、出演者と実行委員会で調整し、概ねコンサートの2ヶ月前までに決定します。リハーサル及び当日の準備等について、コンサートの1ヶ月前までに随時調整していきます。そのほか、申込、公演までの流れについては、概ね別紙のとおりです。

### 【費用等】

- ① 出演謝金はありません。
- ② ミニ・コンサートの入場料は原則無料で行っています。特に入場料を設定されたい場合は、あらかじめご相談ください。
- ③ 出演料は不要です。

- ④ 文化会館の公演及びリハーサル時の会場使用料、備品等使用料は免除されます。その他の経費(飲食等)は出演者の負担でお願いします。なお、練習に伴う施設使用料等は、免除対象とはなりませんので、ご注意ください。
- ⑤ 著作権許諾に関する手続きは実行委員会で行います。著作権許諾が発生する曲目、プログラム等は、公演の約1ヶ月前までにお知らせください。

### 【申込方法】

別紙出演申込書を記入のうえ、期日までに、郵送、持参、電子メール又はFAXで、伊佐市社会教育課 文化芸術係へ提出してください。

【申込書送付先】〒895-2701 伊佐市菱刈前目 2106 番地 伊佐市役所菱刈庁舎 社会教育課

電話番号 0995-26-1554(直通)

FAX 番号 0995-26-1055

メール [bunka@city.isa.lg.jp](mailto:bunka@city.isa.lg.jp)

【募集に関するお問い合わせ】 いさのおんがくたい実行委員会 実行委員長 瀬崎

電話番号 080-1720-3371

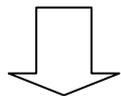
メール [isano.ongakutai@gmail.com](mailto:isano.ongakutai@gmail.com)

### 【※切について】

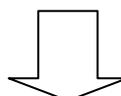
締切 2019年4月22日(月) 必着

## 公演申込から終了までの流れ

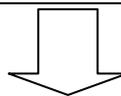
**出演申込み**  
(〆切 4/22)



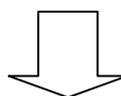
**出演決定通知書等が届く**  
(5月中旬を予定)



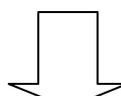
**公演2カ月前まで**  
広報用チラシ原稿(出演者からのメッセージ・主な演奏予定曲)の提出



**公演10日前まで**  
プログラム原稿の提出



**公 演 当 日**



**公演終了後2週間まで**  
報告書用コメントの送付  
(出演者の感想など)

「いさのおんがくたい出演申込書」に必要事項を記入して、申込期限までに、伊佐市社会教育課文化芸術係へ提出してください(FAX、メール、持参可能)。

◇ 希望の日時を第3希望まで記入してください。

事務局から、出演決定通知書、今後のスケジュール、ちらし案等を送付します。

広報用のちらしに掲載する出演者からのメッセージ(100字程度)、主な演奏予定曲(4~5曲)の原稿を作成してください。

プログラム(B5サイズ見開き)の作成をしてください。

◇ 曲目は必須ですが、団体の自己紹介、歌詞等の掲載は、自由です。

◇ プログラムは白黒印刷になります。

◇ ホールへの入りをあらかじめお知らせください。

公演の感想(200字程度)の原稿を作成してください。

実施報告書として、公演の画像・お客様の感想とともに伊佐市文化会館のパネルに掲示します。

## 「いさのおんがくたい」活動実績一覧表(2016年度以降分)

2019年1月現在

2019年1月末時点で延べ8,411名(111公演、内小学生以下2,810名)を超えるコンサートとなりました。  
2018年度においては、11公演(内、アウトリーチ・コンサート及びワークショップ4回、ホールコンサート1回)を実施中です。

(2016年度以降分のみ掲載)

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (内、小学生以下)
70	H28.6.26(日)	ミニ・コンサート(アンサンブル)	くまきちアンサンブル	73人 (20人)
71	H28.7.31(土)	ミニ・ワークショップ	音遊び こんぺいとう	40人 (13人)
72	H28.8.19(金)	企画研修会①	菱川 浩二	5人
73	H28.8.20(土)	企画研修会②	菱川 浩二	3人
74	H28.8.21(日)	企画研修会③	菱川 浩二	9人
75	H28.8.28(日)	ミニ・コンサート(トランペット)	二反田 耕治	51人 (5人)
76	H28.9.24(土)	ミニ・コンサート(管弦アンサンブル)	鹿児島大学管弦楽団	55人 (10人)
77	H28.9.24(土)	ホールワークショップ&ミニ・コンサート	TABASKA & TABASKA Annex	75人 (41人)
78	H28.10.12(水)	アウトリーチコンサート①(ハープ)	Sheep	25人 (14人)
79	H28.10.13(木)	アウトリーチコンサート②(ハープ) in 大口明光学園 中等部	Sheep	67人
80	H28.10.13(木)	アウトリーチコンサート③(ハープ) in 曾木小学校 3~6年生	Sheep	30人 (20人)
81	H28.10.14(金)	アウトリーチコンサート④(ハープ) in 大口明光学園 高等部	Sheep	55人
82	H28.11.12(土)	アウトリーチコンサート(吹奏楽・トランペット) in 南永小	二反田 耕治・いさ吹奏楽団	75人 (20人)
83	H28.11.13(日)	ミニコンサート(吹奏楽)	いさ吹奏楽団	58人 (4人)
84	H28.12.4(日)	ミニコンサート(合唱・アンサンブル)	大口明光学園合唱部・ おとぐるま	27人 (3人)
85	H29.1.14(土)	ミニコンサート(マリンバ)	マリンバデュオ・パレット	44人 (11人)
86	H29.3.4(土)	おんがくの種まきコンサート	Sheep	115人 (33人)
87	H29.4.8(土)	ミニコンサート(手話の歌、ピアノ連弾、アリアソロ)	ひのきサークル	109人 (29人)
88	H29.6.4(日)	ミニコンサート(ピアノ連弾)	エミュ	63 (26人)
89	H29.7.14(金)	講演会「文化事業って何だろう」 ～文化に関する法律と公共のお金の考え方～	講師:菱川 浩二	10 (0人)
90	H29.7.15(土)	ワークショップ「コンサートでまちを元気にしよう！」	講師:菱川 浩二	10 (0人)

91	H29.8.27(日)	ミニコンサート(トランペット)	二反田 耕治	45 (5人)
92	H29.9.9(土)	ミニコンサート(管弦楽)	鹿児島大学学友会管弦楽団	79 (6人)
93	H29.11.5(日)	ミニコンサート(吹奏楽)	いさ吹奏楽団	162 (25人)
94	H26.11.9(日)	アウトリーチコンサート in 南永小学校(吹奏楽ほか)	大口明光学園 合唱部、吹奏楽部、演劇部	150 (53人)
95	H29.12.17(日)	種まきコンサート(合唱)	楠声会合唱団 (賛助出演:大口明光学園合唱部、コーラスブルースカイ、コーラスさざんか)	270 (10人)
96	H30.1.14(日)	ミニコンサート (マリンバ、フルート、ピアノ)	マリンバデュオ パレット	29人 (5人)
97	H30.2.4(日)	ミニコンサート (打楽器 マンドリン)	マンドリンアンサンブル Felice ふえりーちえ	89人 (15人)
98	H30.2.15(木)	アウトリーチ in 大口幼稚園	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	72人 (58人)
99	H30.2.15(木)	アウトリーチ in 大口明光学園	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	76人 (68人)
100	H30.2.16(金)	アウトリーチ in 大口保育園	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	80人 (70人)
101	H30.2.16(金)	アウトリーチ in 大口里保育園	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	79人 (70人)
102	H30.2.17(土)	ワークショップ in 大口里保育園	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	9人 (0人)
103	H30.2.17(土)	アウトリーチ in 大口明光学園合唱部	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	10人 (9人)
104	H30.2.18(日)	ミニコンサート (弦楽(ヴァイオリンとハーブ))	Cantabile(カンタービレ) 有村玲央(バイオリン) 有村遥香(ハーブ)	48人 (6人)
105	H30.3.25(日)	ワークショップ ミュージックセラピストによる音楽ワークショップ	音遊び こんぺいとう	38人 (14人)
106	H30.6.3(日)	種まきコンサート(歌唱)	江副 友美(ソプラノ) 中野かおり(ダンス) 黄世和(ピアノ)	349人 (140人)
107	H30.8.4(日)	ミニコンサート (トランペット、ピアノ)	カナデルン 久木山 武尊(トランペット) 津曲 佳南美(ピアノ)	43人 (9人)
108	H30.9.2(日)	ミニコンサート (トランペット・フルート)	二反田耕治(トランペット) スイートネス 森田奈美(フルート) 寺岡公美(フルート)	61人 (4人)
109	H30.12.2(日)	ミニコンサート (歌&ピアノ)	原あいら、谷口和子(ソプラノ) 井手口希歩(ピアノ)	33人 (5人)
110	H30.12.16(日)	ミニコンサート (吹奏楽)	いさ吹奏楽団	117人 (17人)
111	H31.1.27(日)	ミニコンサート (ジャズ・ポップス)	Freed Fruit (フリード・フルーツ) 石堂 奈菜ほか	30人 (5人)

112	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 伊佐市文化会館	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	
113	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	
114	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	
115	H31.2.21(木)	アウトリーチコンサート in 大口中央中学校	トリオ・ノート 大野真由子(ピアノ) 高瀬真由子(ヴァイオン) 田辺純一(チェロ)	
116	H31.3.2(日)	ミニコンサート (マリンバ、フルート、ピアノ)	マリンバデュオ パレット 橋野 清香 安田奈緒子ほか	

(アンケートから)

ご来場いただきましたお客様から寄せられたアンケートから、一部をご紹介します。  
(原文のまま表記しました。)

- やっぱり生の音はいいですね。若いひとびとの演奏を応援したいと思います。若々しくて楽しかったです。(60代 女性)
- トランペット、フルートの生の演奏を聴けて良かったです。娘(1歳)にも届いていたと思います。ありがとうございました。(30代 女性)
- 楽器がたたけて喜んでいました。またこのような音楽で癒される機会があると嬉しいです。(40代 女性)
- 知っている曲が多く、とても馴染みやすいコンサートでした。極力、いさのおんがくたいには聴きに行くべきだと思いました。いい時間を過ごせました。(70歳以上 女性)
- マンドリンの演奏を初めて生で聞き感動しました。毎日を頑張っていける勇気をもらいました。ありがとうございました。(60代 女性)
- 初めて来ました。参加出来たり、ゆっくり聴けたり、色々なスタイルで楽しめました。大好きな曲の連弾もあり嬉しかったです！(30代 女性)
- 福岡より転入してきました。福岡にいる頃は市民ホールで高校生の演奏を聴きに行っていました。伊佐市でも聴けることは嬉しいです。無料だし、気軽に足が運べていいです。これからも続けてください。(50代 女性)
- 今年もいさ吹奏楽団の皆さんの演奏を聴くことができ、大変嬉しく思います。この街に吹奏楽団があり、ずっと継続しておられる事は伊佐市民としてもとても誇りに思います。来年もまた楽しみにしております。(60代 女性)
- 楽しみに待っていた「いさのおんがくたい」でしたので、いそいそと出向いて参りました。皆さん新人さんも含め全員チームワークがよく、さすがに年限を重ねただけの価値があり、大変ほっこりする時間でした。ありがとうございました。(70歳以上 女性)

(演奏者から)

出演者からのコメントをご紹介します。

(2018年12月#110いさ吹奏楽団によるミニコンサートの報告書より。原文のまま表記しました。)

今回で「いさのおんがくたい」は7回目の出演になりました。この大ホールでの演奏は昨年に引き続き2回目です。このように照明や音響に素晴らしい演出をしていただいたスタッフの方々に、心から感謝申し上げます。

吹奏楽は、演奏を作り上げていく過程に魅力があります。一人だけでの演奏では味わえない、他の楽器と絡み合って皆で心地よいハーモニーを醸し出すという魅力です。ひとりとして欠けてはいけなし、自分だけ出しゃばってもいけません。皆で作りに上げていくという姿勢が大切です。ご来場の皆様方に心地よいハーモニーが伝わったでしょうか。次回もぜひお楽しみに。



**ピアノの秘密  
演奏家に学ぶ**  
伊佐大口小

伊佐市の大口小学校で12、13日、学校などで音楽の魅力を紹介するピアノの田村緑さん（写真中央、東京都）が出演演奏会「おんがくの種類まきコンサート」を開いた。4、5年生148人は演奏とともに、ピアノの秘密にも触れた。手作りコンサートで市民に音楽の魅力を発信する「いさのおんがくたい」実行委員会の企画。児童はグラウンドピアノの構造を学んだほか、田村さんが演奏するピアノの下をくぐったり、取り囲んで寝そべったりして体全体で音の響きを感じた。

6月には伊佐市で田村さんのコンサートがある。「子供たちは乗りがよかったです。コンサートがクラシック音楽に興味を持つきっかけとなれば」と期待した。（谷上英文）

平成 27 年 3 月 18 日、南日本新聞

水曜日 2018年(平成30年)2月21日 地 Kagoshima

みなみネット

**プロの音楽家 学校派遣**  
いさのおんがくたい「生の迫力」好評

伊佐市の主婦や公務員らでつくる「いさのおんがくたい」が、学校などにプロの音楽家を派遣するアウトリーチコンサートに力を入れている。美しいハーモニイに触れる機会を提供してファンを増やし、明るい地域づくりに役立てたい考えだ。アウトリーチは、ホールで聴衆を待つのではなく、音楽家自身が住民の生活の場に出向き新たな客層を開拓する取り組み。市教育委員会の支援を受け毎年、幼稚園や小中高などにプロを派遣し、コンサートを開く。15、17日は佐賀市のソプラノ声楽家、江副友美さん（左）ら3人が6力所で公演した。

初日の大口明光学園中学校では、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を披露。江副さんはピアノ伴奏に合わせ、美しい伸びやかな歌声を響かせた。振り付けや歌う際の呼吸指導後、1、3年生55人と合唱した。普段接する機会が少ないナポリ民謡やオペラも歌った。

今回のプロ音楽家3人としてホールで開くコンサートに出演し、同校の生徒と協演する。3年の川添花恋さんは「テレビと間近で聞く生の歌声は迫力が違う。歌の練習も頑張りたい」と笑顔だった。実行委員長の瀬崎広文さん（42）は「音楽は地域を明るくする。音楽をする、みる、支える担い手になってもらいたい」と話した。（浦牛原健）

平成 30 年 2 月 21 日 南日本新聞

**ハーブの秘密  
演奏家に学ぶ**  
伊佐で出演演奏会

伊佐市民に音楽の魅力を発信する「いさのおんがくたい」実行委員会は12、14日、市内の2校で出演演奏会を開いた。小城通香さん（26）鹿児島市、下野由貴さん（26）同市のハーブデュオ「Sheep」が演奏とともに「ハーブの秘密」を紹介した。13日午前は大口明光学園であり、中学生57人が参加。演奏の合間から47本と答えた。小城さんとの二重奏にも挑戦し、下野さんの指導で「指が痛い」と訴えながらも懸命に弦を弾いた。

3年の濱安佑さん、大崎明日加さんは「弦がいっぱいあつてどれを弾くのか迷った。ハーブの音色は宗教音楽のようですてき」と満足を語った。小城さんは「ハーブに触れて、親近感を持つてくれた」と喜んだ。（谷上英文）

平成 28 年 10 月 24 日 南日本新聞